


平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【茨城県】

1 実践テーマ	【 I・II 】
2 実施対象者	茨城県つくば市立田井小学校 1学年～6学年 児童61名 保護者・地域住民 146名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育) ② 行事名 (オリンピック・パラリンピック教育講演会) ③ その他 () (2) 地域における活動 1 イベント名 () 2 その他 ()
4 目標 (ねらい)	児童一人一人がオリンピック・パラリンピック教育を理解し、国際スポーツの認知や理解、障害者スポーツの実践から、スポーツライフを継続する資質や能力を育てることをねらいとして、オリンピック教育やおもてなし講座、障害者スポーツの体験を実践する。
5 取組内容	1 「オリンピック、パラリンピック教育」授業の実施 ○オリンピック・パラリンピックの歴史を学ぶ（5，6年体育） ①近代オリンピックの概要，歴史等について学習する ②1964年東京オリンピックのDVDを鑑賞する ③近代オリンピックについて学んだ事をまとめる 近代オリンピック教育資料をもとにオリンピックの概要や歴史について学んだり，1964年東京オリンピックの実録DVDを鑑賞したりして，2020年東京オリンピック，パラリンピックに向けて意識を高める機会とした。 2 ゴールボール，ブラインドサッカーの実践（5，6年 体育） 5，6年生の体育の授業において，パラリンピックの種目である「ゴールボール，ブラインドサッカー」を体験した。簡単なルールを説明してから，鈴の入ったボールを目隠しをして蹴る練習を行い，簡易ゲームを行った。ゲームは，3対3，5対5などのミニゲームを行い，ブラインドサッカーの難しさを体験することができた。 3 「おもてなし講座」の実施 児童，保護者，地域住民を対象に「おもてなし講座」を実施した。講師として，元日本航空のCA，現筑波大学客員教授の江上いずみ先生をお招きし，「おもてなし学」を元日本航空CAとしての経験を生かした英語を交えたテンポの良い口調とプレゼンを使いながら興味関心を得るお話を頂いた。

<p>6 主な成果</p>	<p>「オリンピック、パラリンピック教育」の授業から（感想等の記入発表） 5, 6年生が近代オリンピックの概要や歴史を学び、1964年東京オリンピックのDVDを鑑賞することで、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて児童一人一人がオリンピック開催に興味関心を強くもつことができた。</p>  <p>～児童感想から～</p> <ul style="list-style-type: none"> • オリンピックが戦争で中断してしまったり、ボイコットした国があったりしたというのは、初めて知ったのでとてもびっくりしました。2020年の東京オリンピック、パラリンピックでは、そんなことが起きずに平和に開催されることを願っています。 • オリンピックは、いろいろな人種、肌の色、性別、宗教などの差別なくスポーツを競い合うためにオリンピック会場に入場していく様子は、オリンピックが平和の象徴だと言われているところだとよく分かりました。 • オリンピック誕生の歴史や「オリンピック」という名前の由来、今までの開催国について学んだり、1964年に行われた東京オリンピックの当時の映像を見たりして様々なことを学びました。 • 日本は、戦争を仕掛けた側として、招待されない時期があって、参加できなかったことにもびっくりしました。 • オリンピック教育を受けて、平和の大切さ、平和を保つ難しさを考える機会があり、とてもいい経験になりました。 • 2020年に開催される東京オリンピック、パラリンピックに関心が持てる機会になりました。オリンピックが開催される年はテレビの前から全力で応援しようと思いました。 • オリンピックの歴史や開催国が分かり、オリンピックは平和の祭典の復興や復興をめざしていることがよく分かりました。
<p>7 実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> • オリンピック、パラリンピックについての理解を深めるために、映像や資料を十分に用意し、視覚で夢や感動を伝えられるように工夫した。 • 保護者、地域を巻き込んで「おもてなし講座」を実施し、オリンピック・パラリンピックに対する興味関心を高めてもらう機会とした。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 5, 6年生を対象に体育と総合的な学習の時間の福祉に関する学習を活用して、オリンピック・パラリンピック教育推進を実践した。本事業を推進する中で、「おもてなし講座」などは社会生活の中で最も大切な思いやりや相手を気遣う大切さなどを学び、学校だけではなく学校、保護者、地域で取り組む必要性を感じた。年度途中からの取り組みだったので計画に無理が出たので、複数年指定を受けて年度始めから綿密な計画を立てて推進することが大切であると感じた。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 来年度より学園内小学校7校、中学校2校の9校が統合され、4月から義務教育学校として開校する。今年度、田井小学校が取り組んだオリンピック・パラリンピック教育を新設校でも実践し、国際スポーツの認知や理解、障害者スポーツの実践から、スポーツライフを継続する資質や能力を育てることを継続していきたいと考える。